

中央銀行：自動車金融会社、金融リース会社の預金準備率を段階的に0%に引き下げ

5月7日、国務院新聞弁公室は“金融安定市政策の組合せ”について発表会を行った。中央銀行の潘功勝総裁は、中央政治局会議を受け、人民銀行はマクロコントロールを強化し、3つの角度、10項目の措置を含む金融政策を打ち出し、適度な緩和政策を持続的に実施すると強調した。

10の措置のうち第2項では、段階的に自動車金融会社、金融リース会社の預金準備率を、現在の5%から0%に引き下げるとした。

新政策は段階的な大幅な引き下げを通じて、特定分野への与信投入能力を効果的に増強し、自動車消費と設備投資の増加を刺激するのに役立つ、業界の発展に「強心剤」の役割を果たしたに違いない。

自動車の買い替え補助金政策 全国に広がる

今年1月、商務省など8部門が発表した《2025年の自動車の買い替えに関する通知》によると、個人が2012年より前のガソリン車、2014年より前のディーゼル車または2018年より前の新エネルギー車を廃棄し、免税リスト内の新エネルギー車或いは2.0 L以下のエンジン駆動車を購入すると、定額の補助金を受けることができる。

新政策は国の国IV排出基準の初年度のエンジン駆動車を補助金の範囲に組み入れ、旧式車の廃棄支援をさらに拡大する。

2025年の自動車の買い替え政策は補助金の範囲の拡大と高い補助金基準の維持を通じて、新車消費需要を直接刺激し、新エネルギー車の浸透率の向上を加速させるとともに、自動車メーカーの製品構造の最適化を推進し、業界全体のグリーン低炭素への転換を加速させる。

国が新規則を公布：格納式ドアノブの設計を全面的に規範化

格納式ドアノブに存在する安全上の危険性について、工業情報化部は5月8日に《自動車ドアノブ安全技術要求》の強制的な国家基準を公示し、現在6月7日まで意見を公募している。この規格では、初めて格納式ドアハンドルの安全性が規範化する。

新基準は主に3つの内容を規範化した：1) 非常用内ドアハンドルの取り付け要求、2) 格納式と非常用内ドアハンドルの標識規範、3) 電動外ドアハンドルの挟み防止、強度、動的性能の試験基準

小米SU7の事故で業界の安全性が議論された後、工業情報化部は最近、複数の安全規範を集中的に打ち出した。新しく推進された《自動車ドアハンドルの安全技術要求》の強制的な国家基準は、自動車の設計理念が科学技術感の過度な追求から“安全優先”へと転換していることを示している。

電気自動車の電池安全に関する新規規制が登場 来年7月に強制執行

工業・情報化部が先導して制定した《電気自動車用動力蓄電池の安全要求》（GB 38031-2025）の強制的な国家基準がこのほど、国家市場監督管理総局、国家標準化管理委員会の共同承認を得て発表された。この基準は中国の新エネルギー自動車産業の重要な技術規範として、2026年7月1日から正式に実施される。

今回の基準改正は3つの安全要件を重点的に強化した：新たにアンダーボディの衝突試験と急速充電サイクル安全試験の2つの重要な検査を追加する。熱拡散防護基準をアップグレードし、“発火5分前警報”から“発火しない、爆発しない”の融通の利かない指標に引き上げ、最適化設計により自然発火リスクを低減し、ユーザーの安全を確実に保証する。

新しい規則は自動車メーカーの電池安全設計の再構築を推進し、熱による制御不能防止などの技術的突破を加速させ、業界は新たな再編に直面するだろう。

スマート運転業界の強い監督管理時代が到来。工業情報化部は虚偽の宣伝と公開試験の乱れを厳しく取り締まった

4月16日、工業情報化部装備工業一司はICVの監督管理の特別会議を開き、60社以上の自動車メーカーの代表が参加した。会議は《参入許可及びOTA管理通知》を重点的に配置し、実施する。

自動車企業はADASシステムの全シーンテスト検証、機能境界の明確な定義、安全冗長設計などの要求を厳格に履行し、誇張宣伝を厳禁し、品質安全主体の責任を強化することを要求した。

新政策は業界の技術標準化プロセスを加速させ、自動車企業に研究開発への投資とコンプライアンス能力を向上させ、スマート運転分野の野蛮な成長から質の高い発展段階への転換を推進し、ICVの安全レベルを全面的に向上させる。